

都の取組状況

・都では、東京が世界をリードするグローバル都市として発展を続けていくために、外国人向け生活情報の多言語発信や相談体制の整備等により、日本人と外国人が共に活躍し、共に支え合う社会（東京における多文化共生社会）の実現に向けた取組を進めています。

（都で実施している多文化共生の取組に関する参考URL）

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunka_kyousei_shakai

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiiki_tabunka/tabunka/jyouthou_hasin_soudan

現状の課題

- ・都内の外国人人口は約78万人（令和8年1月現在）で急速に増加・多様化が進んでいます。
- ・日本人も外国人住民に日本の生活ルールや習慣等を理解してもらい、日本人と外国人が互いに安心して暮らせる社会を実現することが重要です。
- ・今後も外国人の増加が見込まれる中、在留外国人の主な情報入手先であるスマートフォンなどのデジタル端末も活用して、より多くの人々が興味を持ち、効果的な発信につながる新たな手法が求められています。

日本のルールや習慣を主体的かつ楽しく学べる、XR技術等を活用した新たな取組を実施

日本の生活ルールや習慣等を理解することで
日本人と外国人の双方が安心して暮らせる環境を実現

参考（都における在住外国人の状況）

- ・都の外国人人口は、近年急増し、2026年1月時点で約78万人に到達（都民の5.6%）
- ・新宿区・豊島区・荒川区では既に10%を超過

